

株式会社 丸井グループ

2025年3月期 第3四半期決算概要



2025年2月13日

## 25年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ 共創投資
- ・ 営業外損益/特別損益
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ ESG

通期見通し

## 25年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ 共創投資
- ・ 営業外損益/特別損益
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ ESG

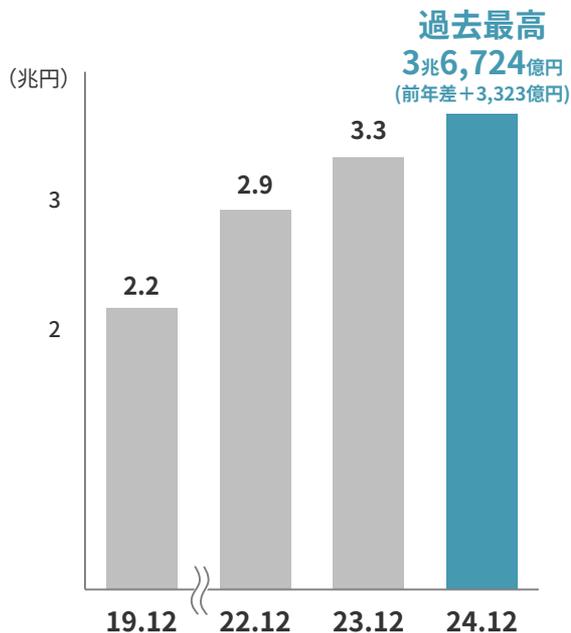
通期見通し

- ① 総取扱高は**10%増の3兆6,724億円**（前年差+3,323億円）  
引き続き過去最高を更新
- ② 連結営業利益は**15%増の333億円**（前年差+44億円）  
第3四半期累計としては過去最高益\*1
- ③ フィンテック営業利益は24億円増益の336億円  
実質営業利益\*2は5四半期連続で増益  
小売営業利益は18億円増益の58億円と順調に増益幅を拡大

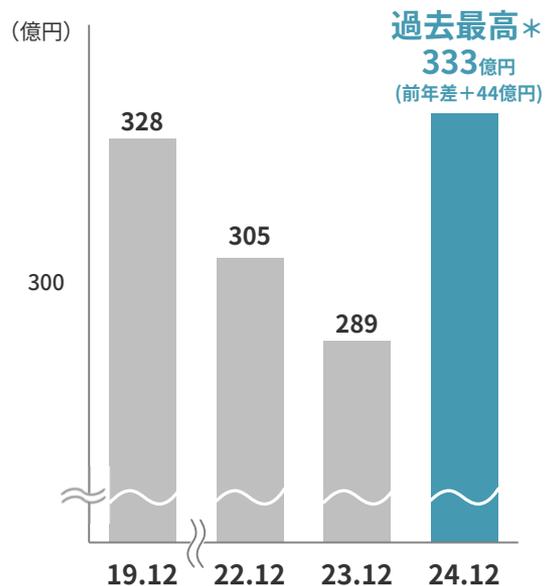
\*1 四半期開示の義務化以降

\*2 実質営業利益 … 債権流動化の前年差影響を除く営業利益

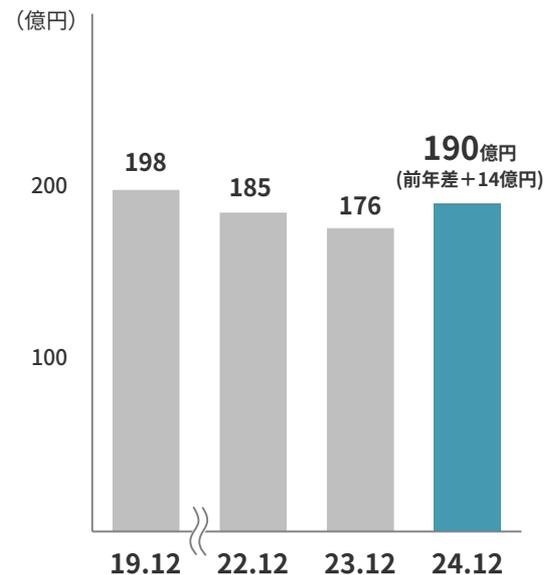
## ■ グループ総取扱高



## ■ 営業利益



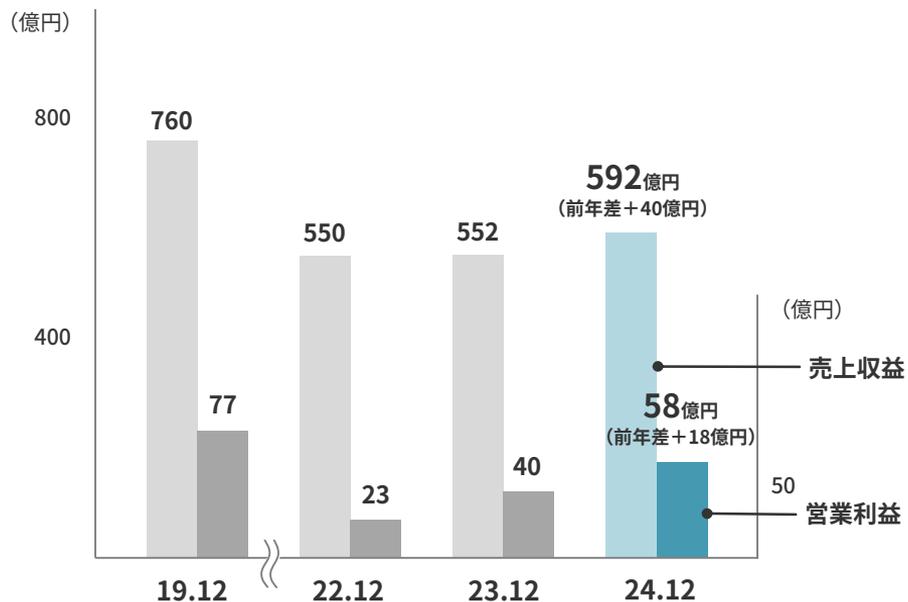
## ■ 当期利益



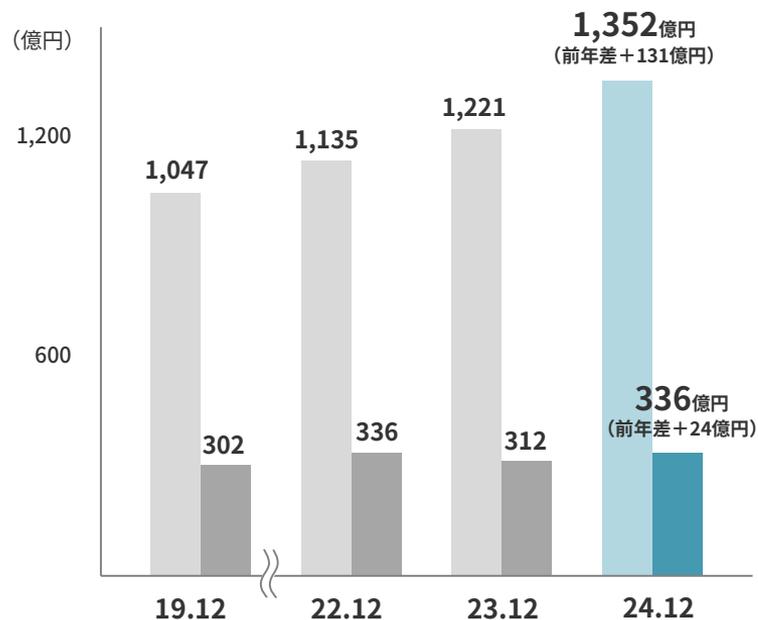
\* 四半期開示の義務化以降

# セグメント別の状況（売上収益・営業利益）

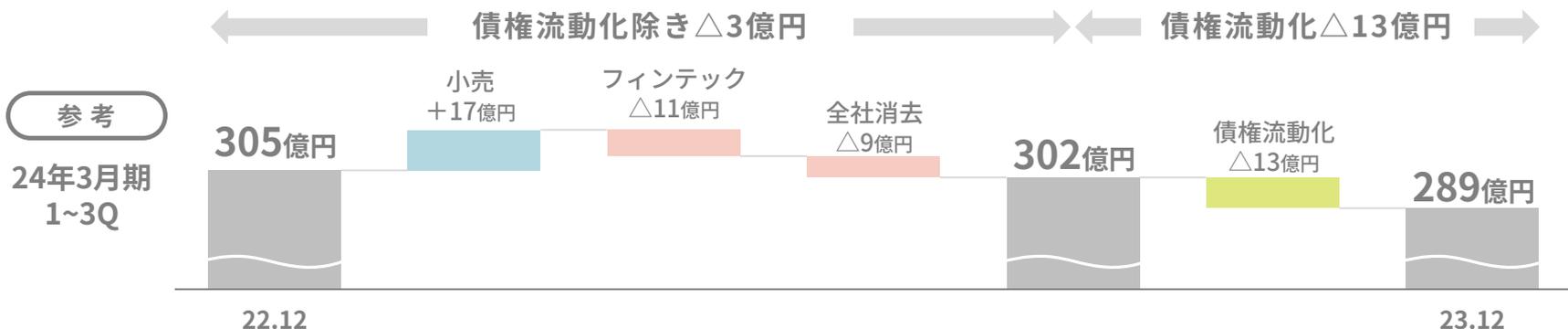
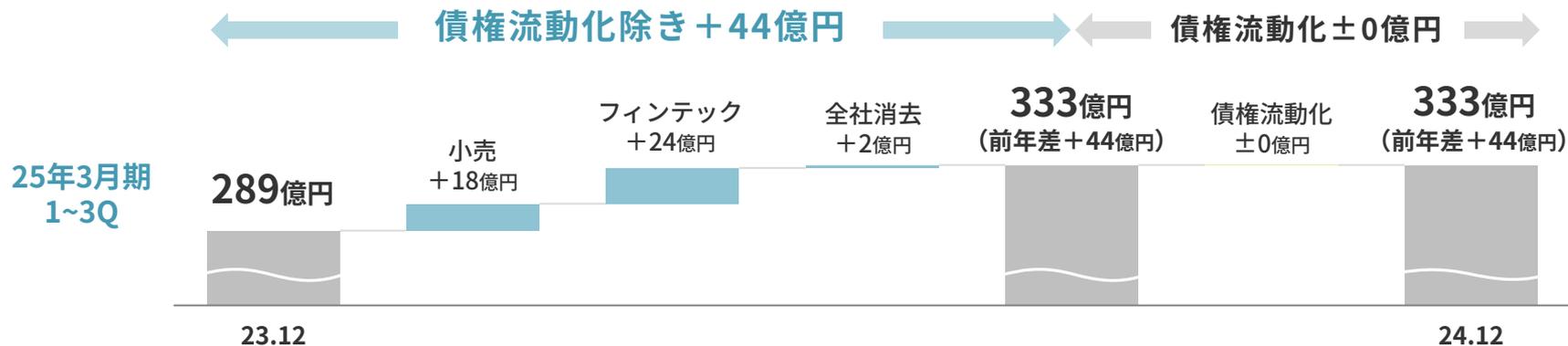
## ■ 小売



## ■ フィンテック



# 営業利益増減の内訳



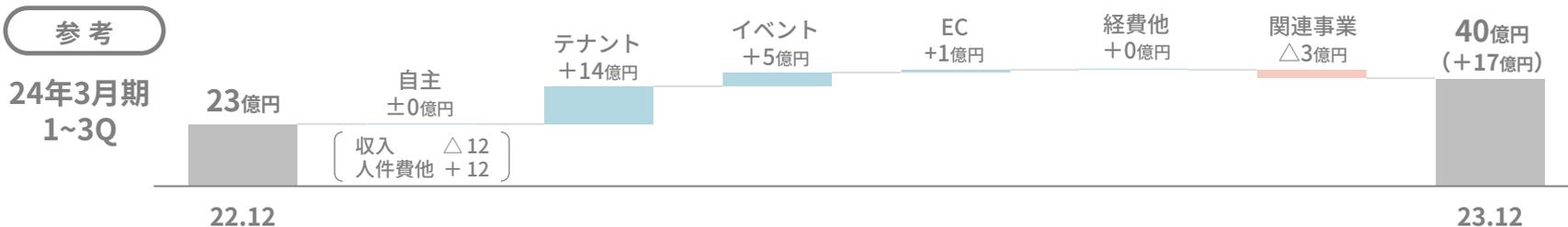
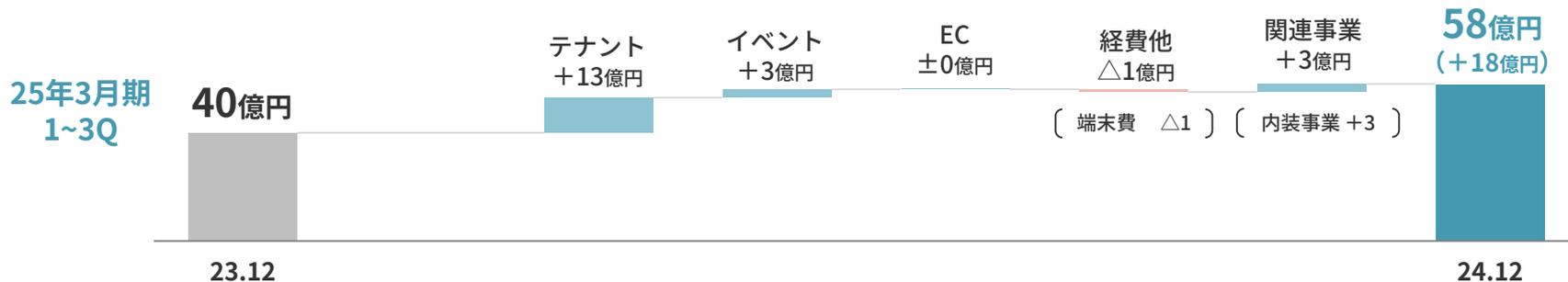
## 25年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ 共創投資
- ・ 営業外損益/特別損益
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ ESG

通期見通し

# 小売 営業利益の増減内訳

第3四半期累計の営業利益はテナント収入の増加等により18億円の増益



# テナント収入の状況

定借面積増加と月坪家賃の単価アップ等により、前年に対し13億円増加

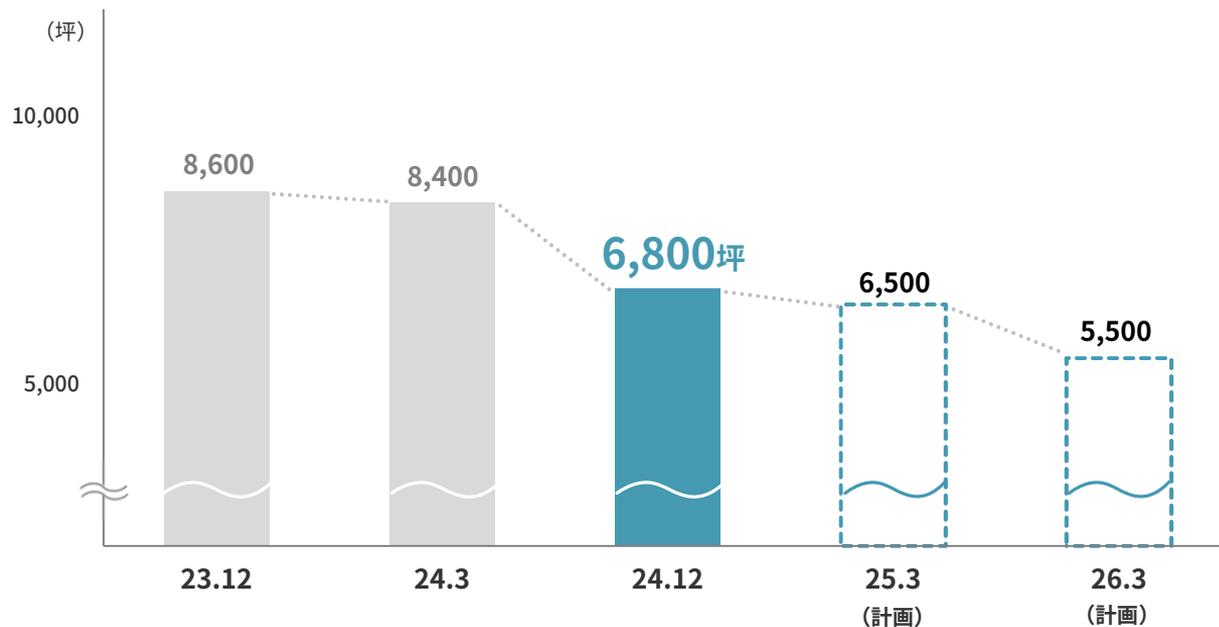
## ■ テナント収入の増加影響



\*テナント収入は、定借テナント収入および消化仕入テナント収入の合計値です

24年12月時点の未稼働面積は6,800坪まで減少、今後も縮小の見込み

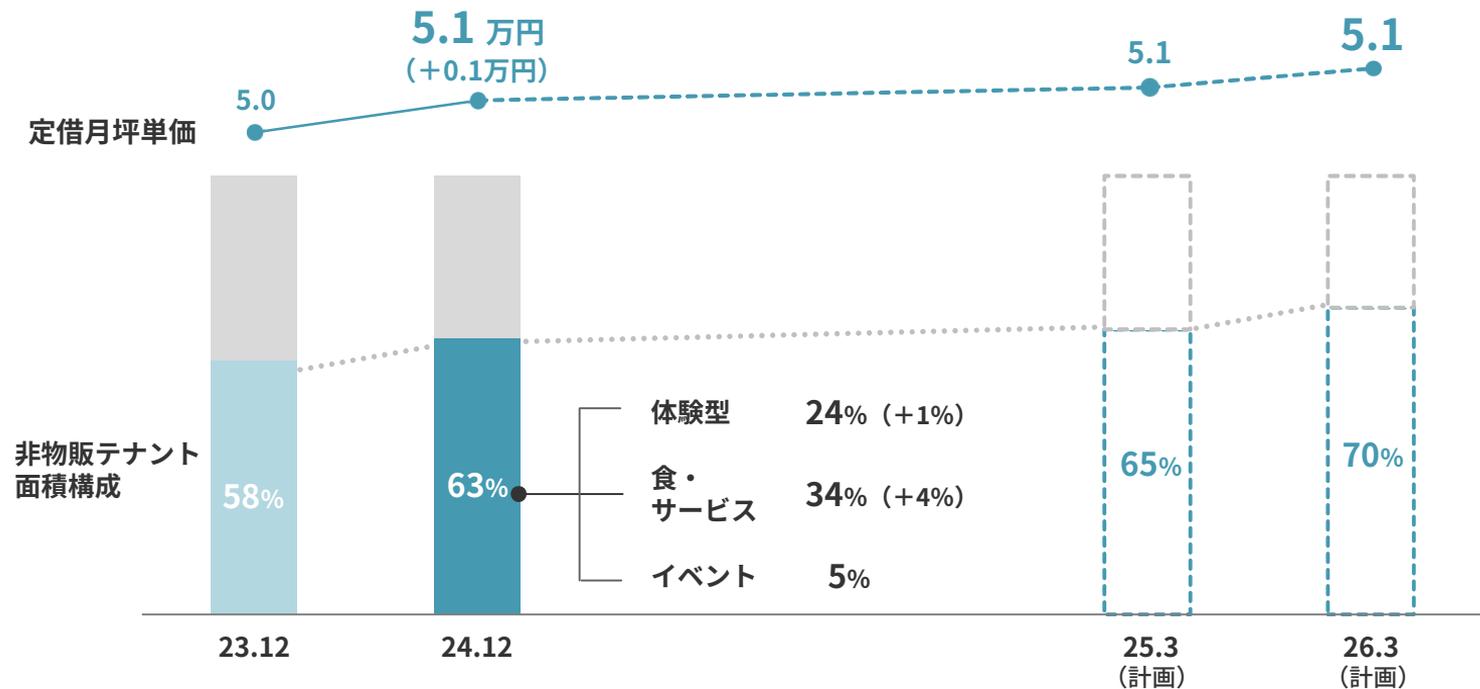
■ 未稼働運行面積の推移（運行平均）



# 売らない店の進捗（カテゴリー）

24年12月時点の非物販テナントの面積構成比は63%に拡大（前年差+5%）

## ■ カテゴリー転換の推移



お客さまに喜んでいただける、体験型・食・サービステナントの導入を進める

なかのダイドコテラス  
(24年10月)



中野マルイ

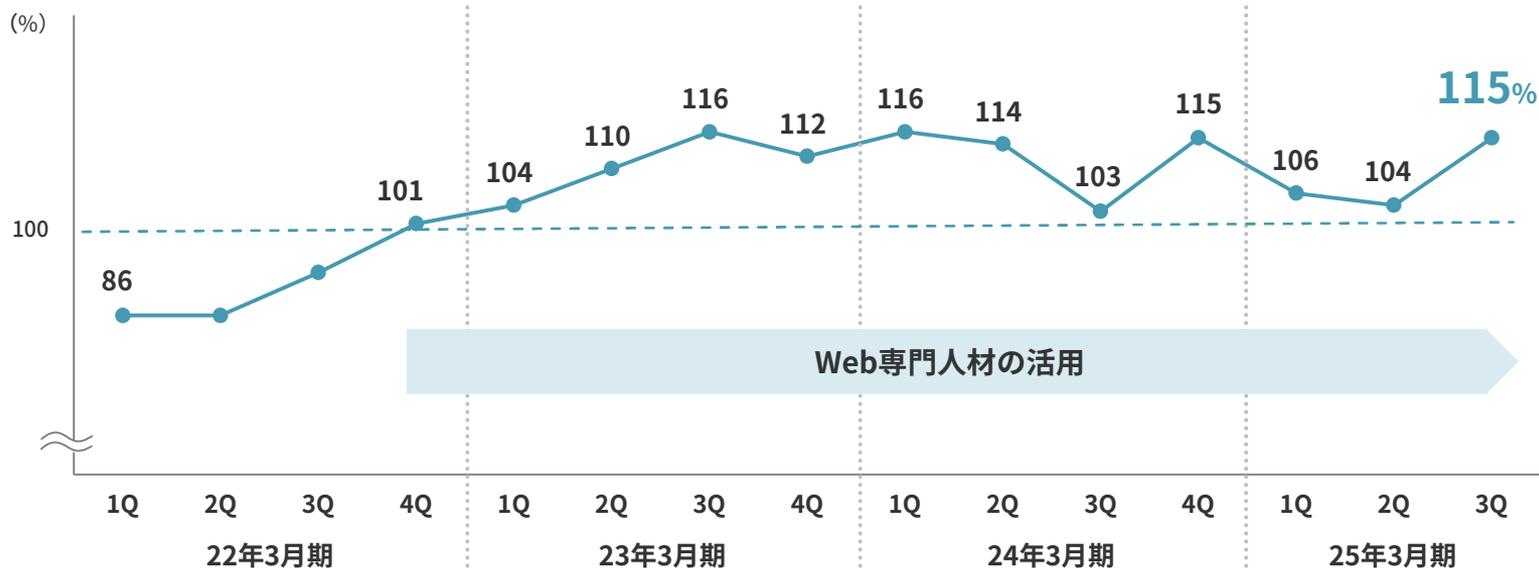
ボンラパスタンプル  
(24年11月)



博多マルイ

第3四半期の取扱高は15%増となり、12四半期連続で増加

■ EC取扱高 前年比



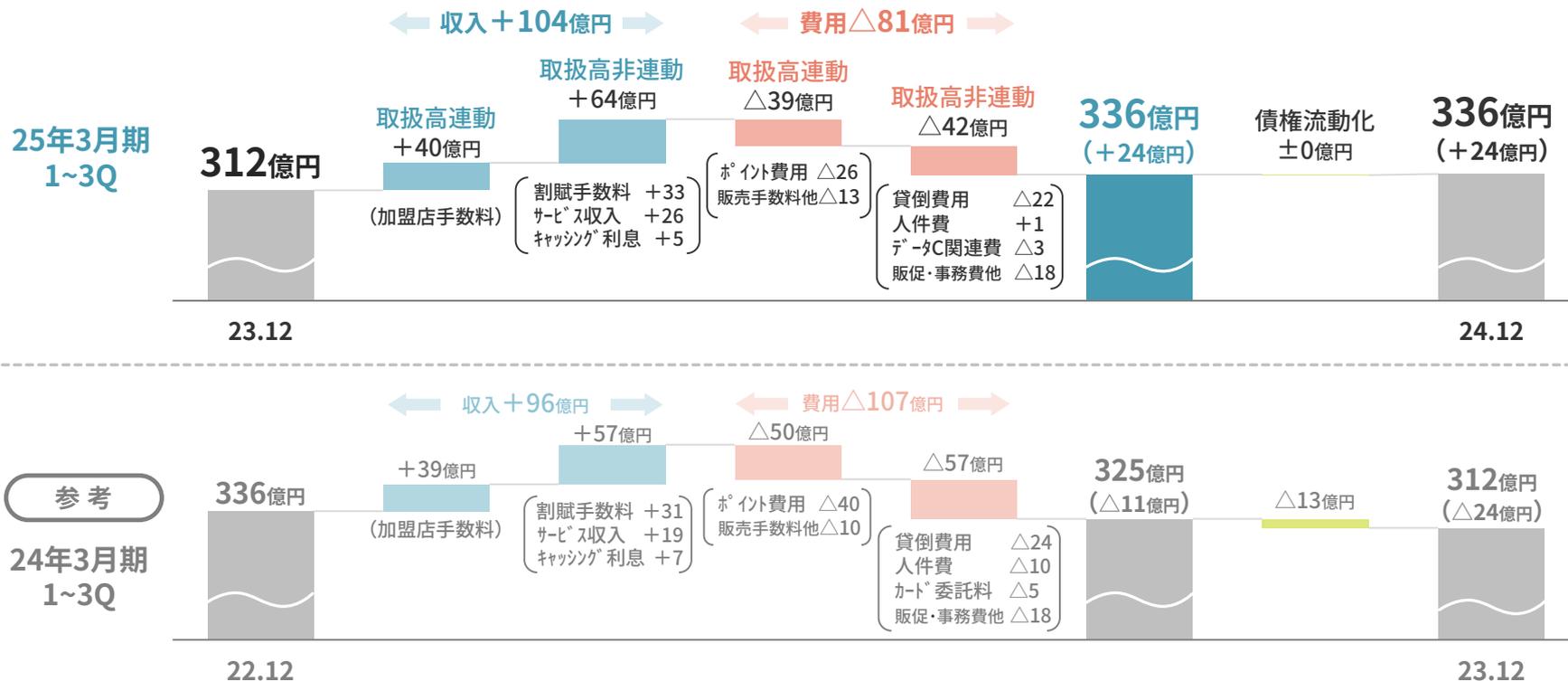
## 25年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ 共創投資
- ・ 営業外損益/特別損益
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ ESG

通期見通し

# フィンテック 営業利益の増減内訳

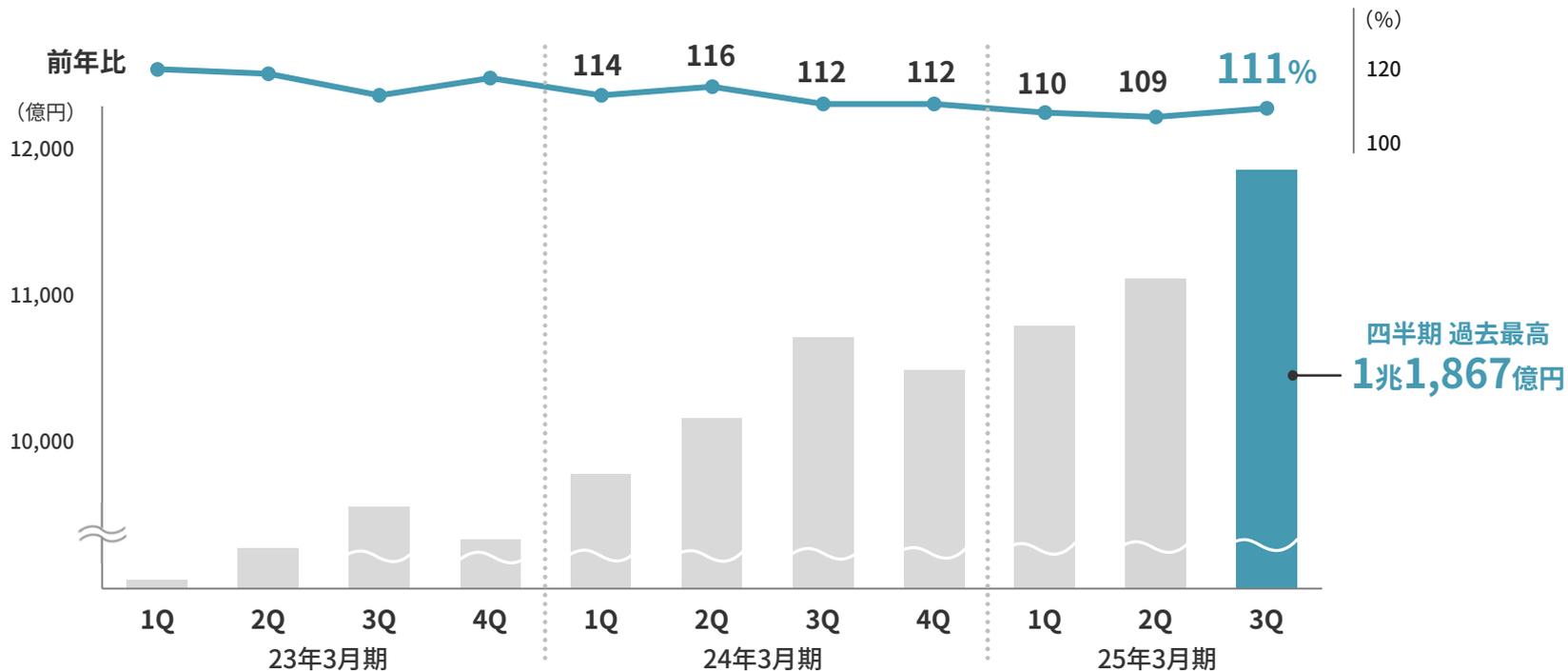
収入の増加に加え、生産性向上により非連動費用の増加が抑制されたことなどで24億円の増益



# カードクレジット取扱高の推移

第3四半期の取扱高は1兆1,867億円（前年比111%）、四半期では過去最高

## ■ カードクレジット取扱高の状況



## 第3四半期の加盟店手数料料率は1.23%と安定して推移

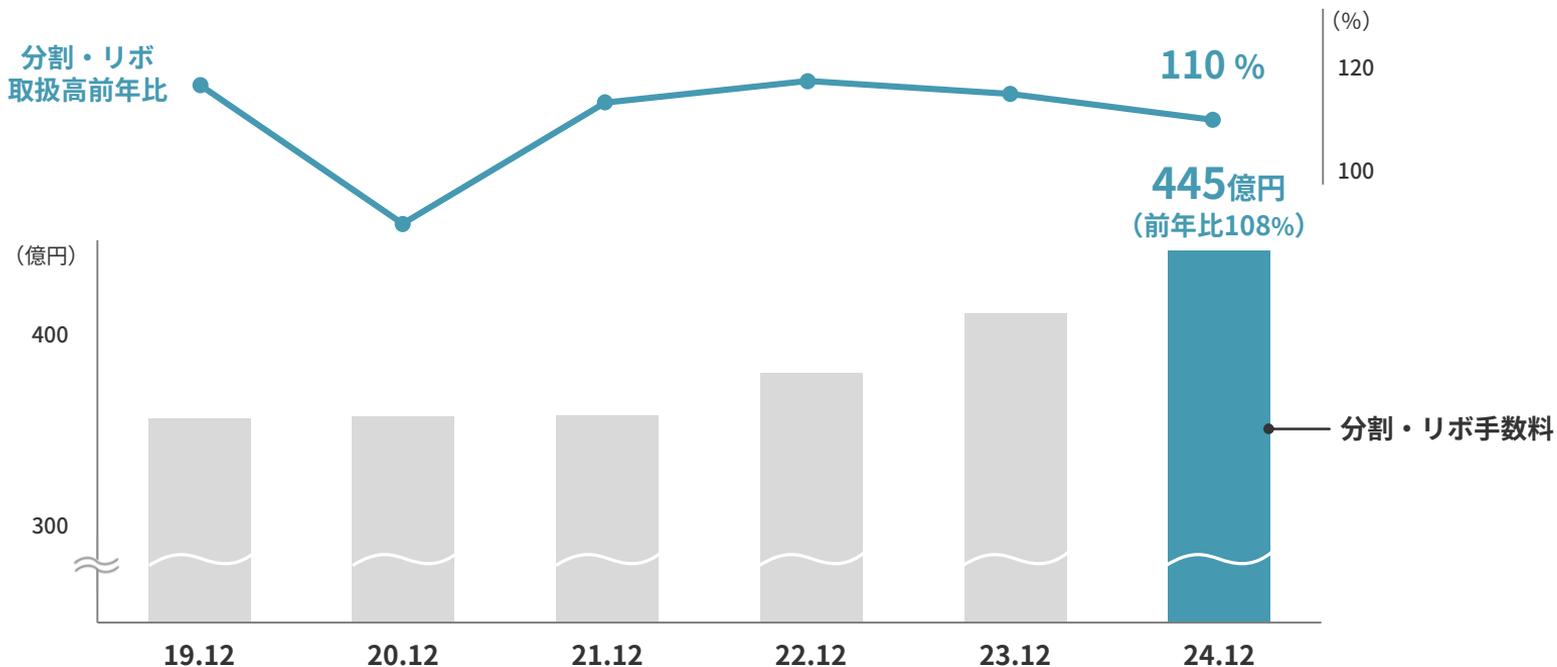
■ 加盟店手数料料率の推移



\*加盟店手数料料率：フィンテック取扱高に対する加盟店手数料収入の比率

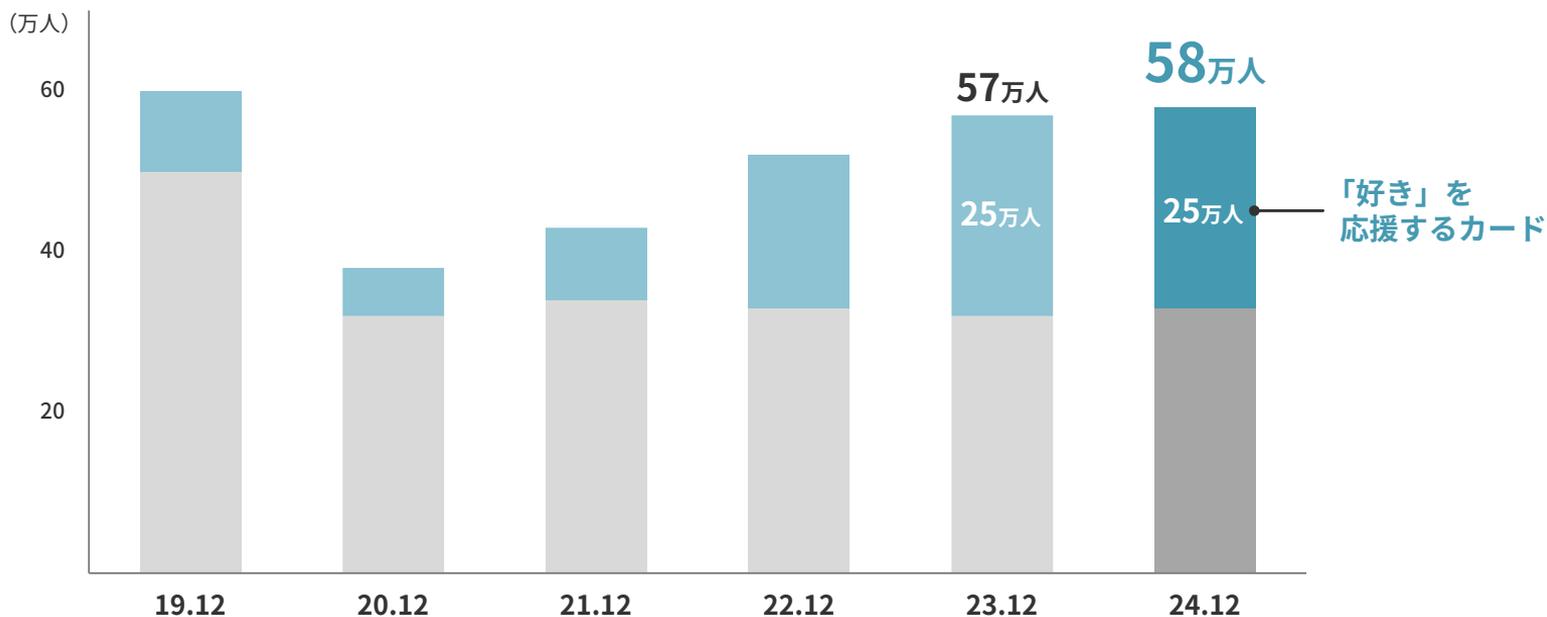
第3四半期累計の分割・リボ取扱高前年比は110%で推移し、手数料収入は8%増の445億円と順調に拡大

## ■ 分割・リボ手数料の推移



第3四半期累計の新規入会は58万人、「好き」を応援するカードの企画数増加等にもない前年を上回る

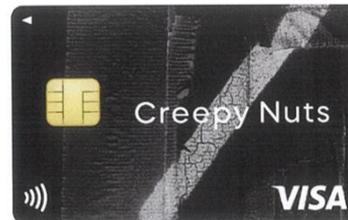
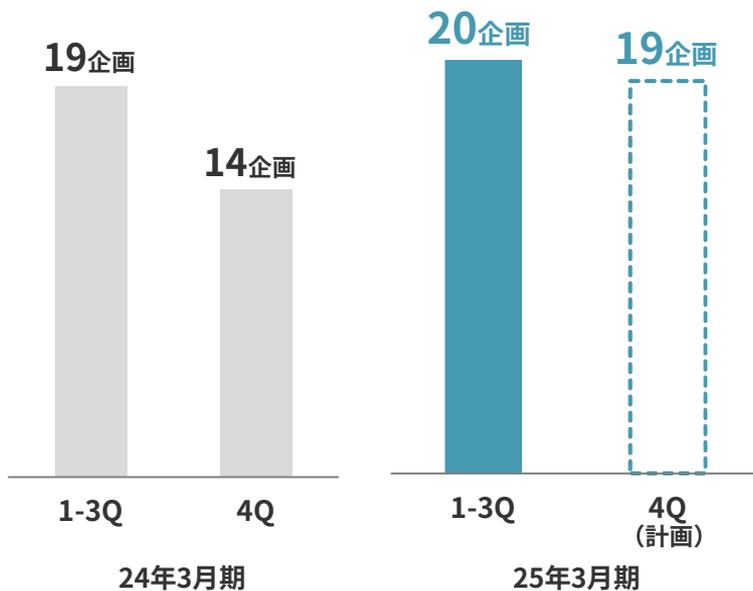
## ■ 新規入会の推移



# 「好き」を応援するカードの拡大

「好き」を応援するカードの第4四半期の企画数は前年を上回る見込み

## ■ 「好き」を応援するカード 企画数



Creepy Nuts エポスカード  
(24年11月)



ミッフィー エポスカード  
(25年1月)

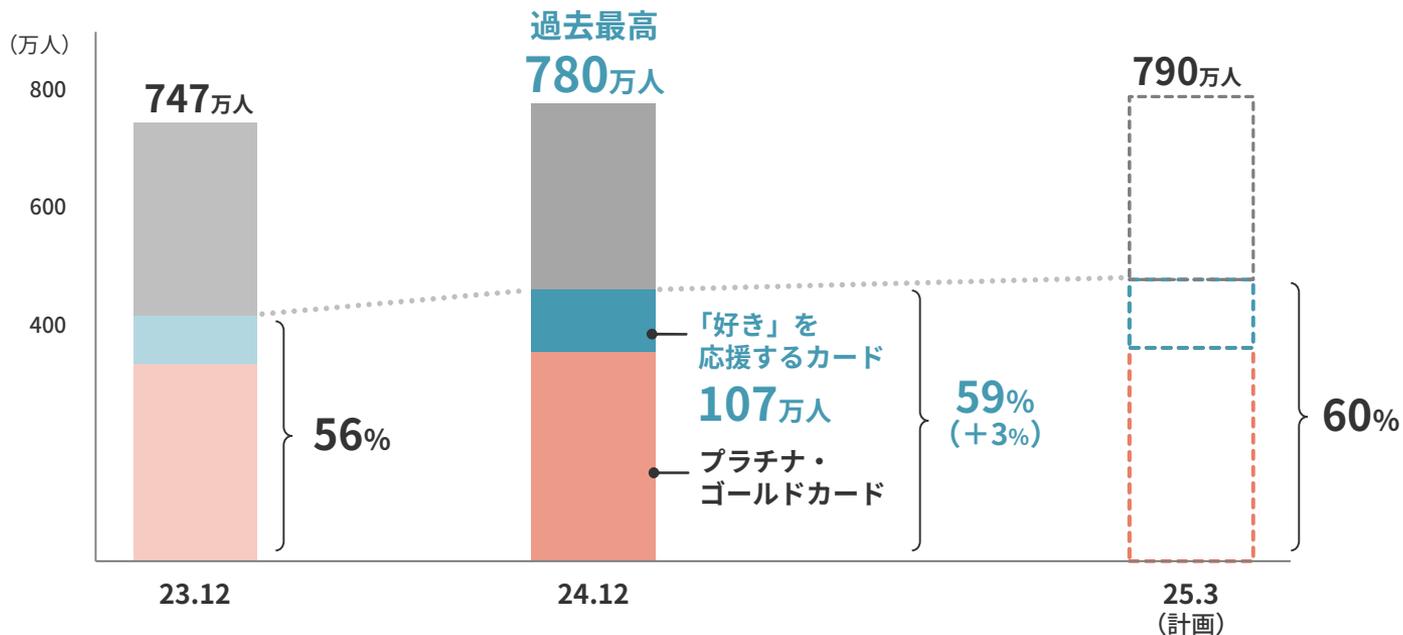
© Mercis bv

# カード会員数の推移

カード会員数は過去最高の780万人（前年差+33万人）

「好き」を応援するカードとプラチナ・ゴールドカードの割合は59%に拡大

■ カード会員数の推移



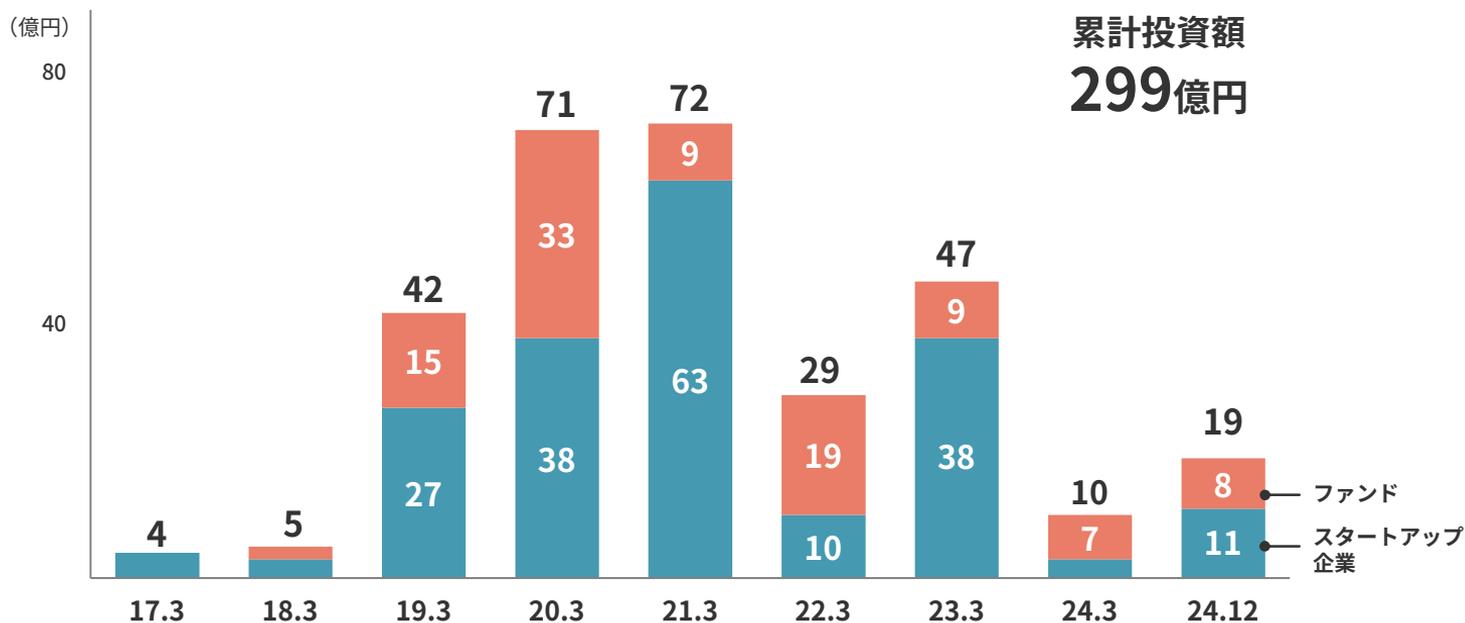
## 25年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ **共創投資**
- ・ 営業外損益/特別損益
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ ESG

通期見通し

第3四半期累計の投資額は19億円、これまでの共創投資累計額は299億円

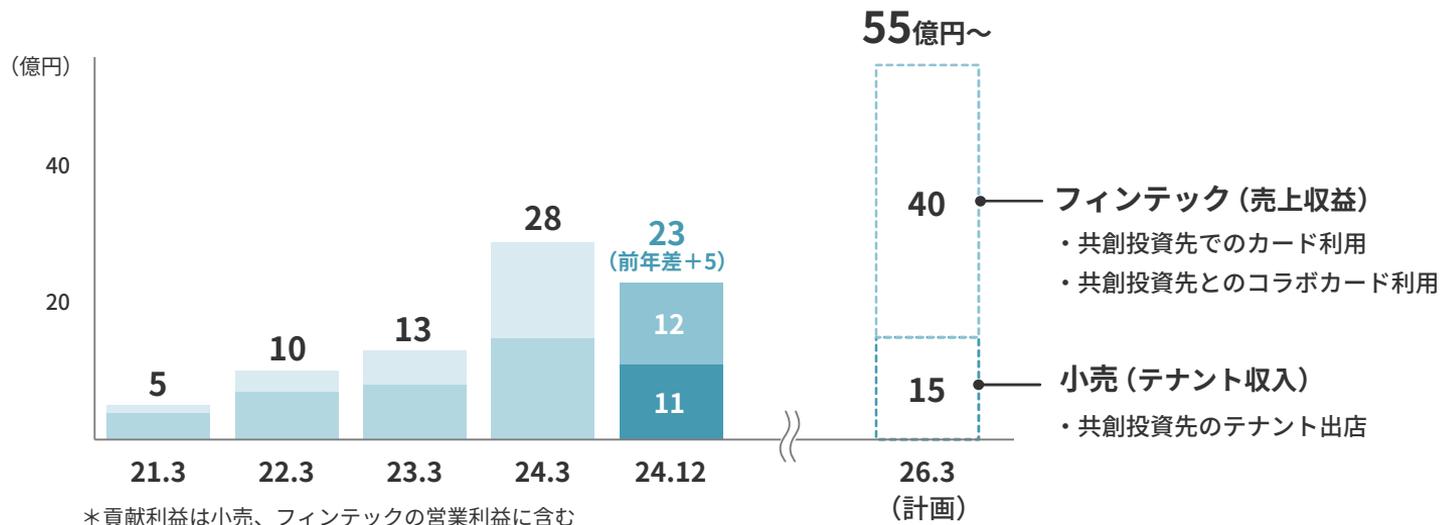
## ■ 共創投資の推移



\*D2C&Coからの投資を含む

## 第3四半期累計の貢献利益は23億円、IRRは11%

### ■ 貢献利益額



■ IRR 24年12月期 > ハードルレート

**11%** > **10%**

## 25年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ 共創投資
- ・ **営業外損益/特別損益**
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ ESG

通期見通し

## 金利上昇などにより営業外費用が14億円増加

	24年3月期 1~3Q	25年3月期 1~3Q	前年比	前年差	前年差要因
	億円	億円	%	億円	
営業利益	289	333	115	44	小売 +18 フィンテック +24
営業外収益	6	8	130	2	受取配当金 +1
営業外費用	23	37	159	14	金融費用 +12 <金利+10 残高+2>
経常利益	272	303	112	32	

# 特別損益の状況

株式減損や店舗閉鎖損などの影響で、特別損益が前年に比べ13億円減少

	24年3月期 1~3Q	25年3月期 1~3Q	前年比	前年差	前年差要因
	億円	億円			
経常利益	272	303	112	32	
特別利益	25	17	69	△8	保有株売却 +10 不動産売却+7 (前期) 商品C △25
特別損失	31	36	116	5	株式減損 +6 店舗閉鎖 +10 (前期) 渋谷 △8
税引前利益	265	284	107	19	
当期利益	176	190	108	14	

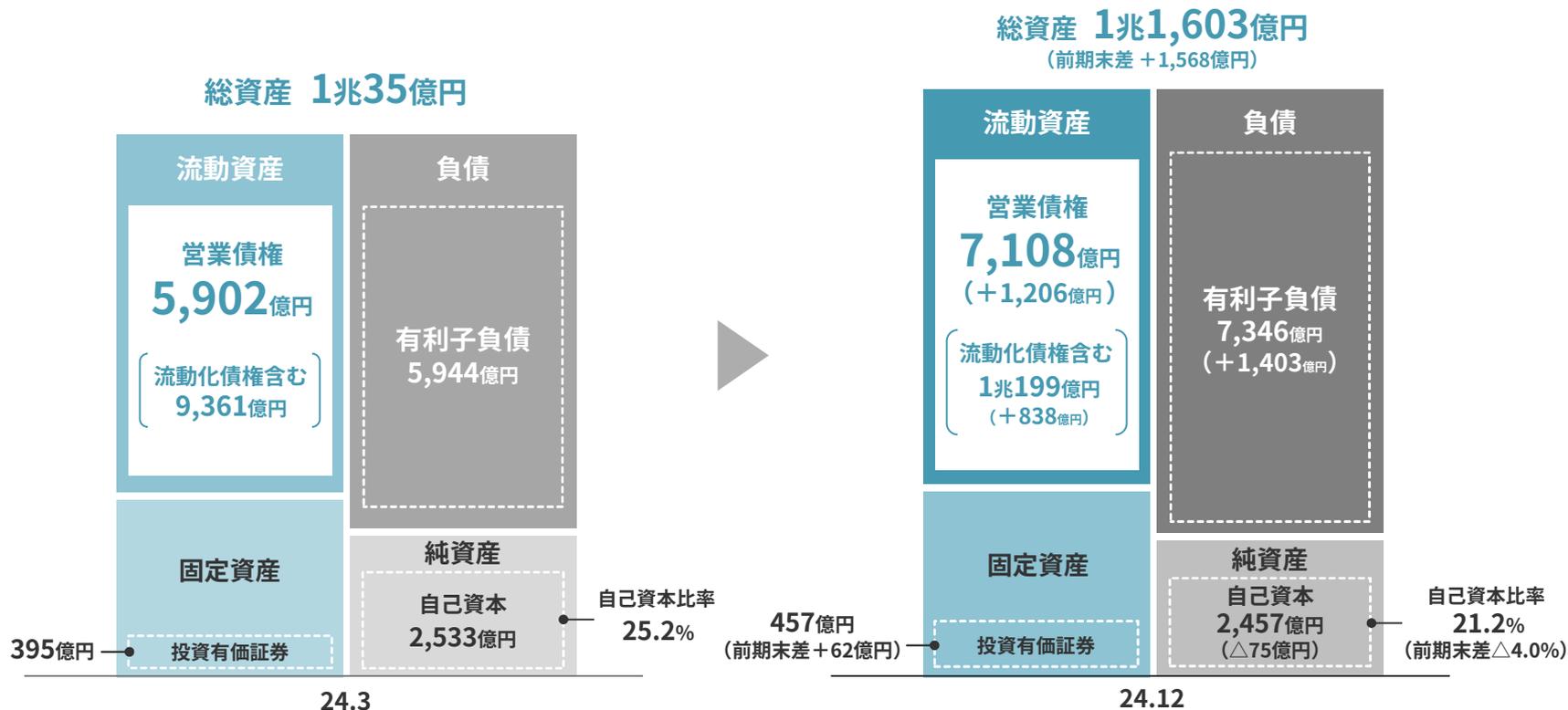
## 25年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ 共創投資
- ・ 営業外損益/特別損益
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ ESG

通期見通し

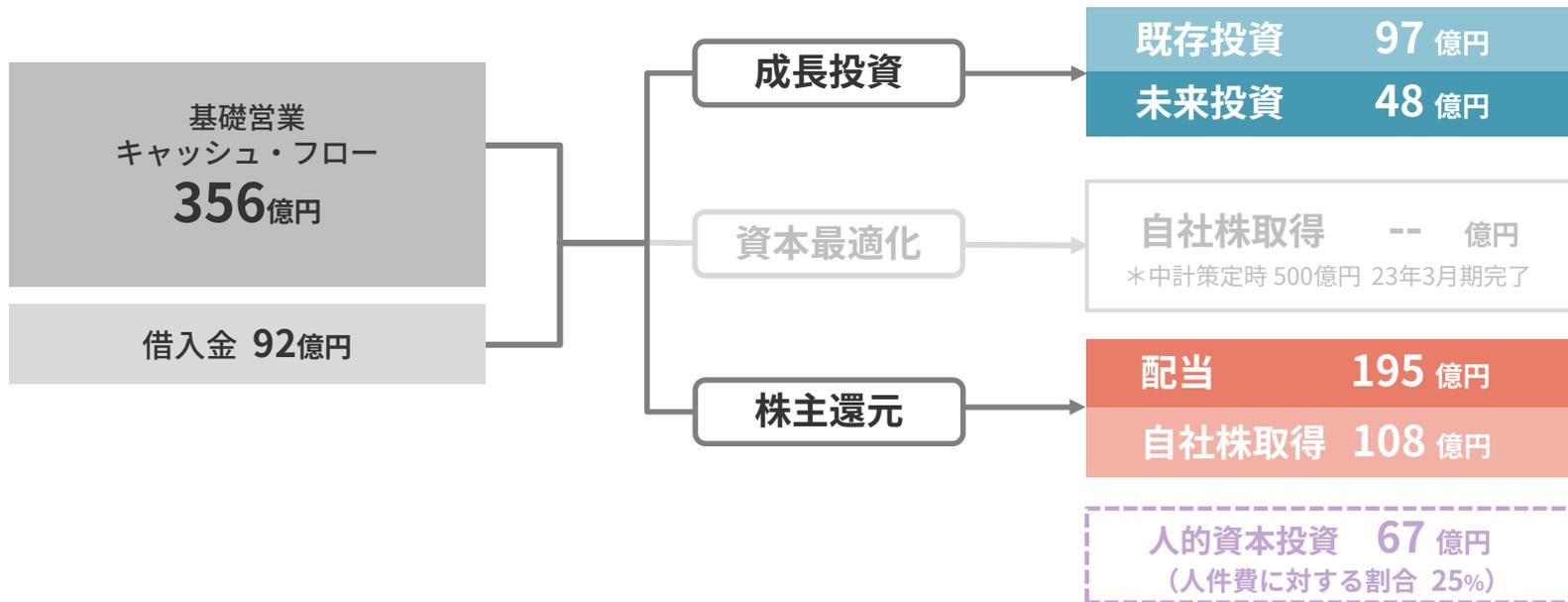
# バランスシートの状況

総資産は1兆1,603億円となり前期末より1,568億円増加



成長投資に145億円、資本最適化を維持しつつ、株主還元には303億円を配分  
 人的資本投資は67億円（人件費に対する割合は25%）

■ 資本配分（25年3月期 第3四半期）



\* 社員への株式付与に伴う20億円の自社株取得を実施  
 当期償却分（5年償却）を計上

## 25年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ 共創投資
- ・ 営業外損益/特別損益
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ **ESG**

通期見通し

## ■ 主な外部評価

Member of  
**Dow Jones Sustainability Indices**  
 Powered by the S&P Global CSA

24年12月

- DJSI World Index 7年連続
- DJSI World Asia Pacific Index 8年連続
- 金融サービスセクター 日本1位



24年10月  
 最高ランク  
 「Aランク」獲得



24年8月  
 8年連続



24年7月



24年3月  
 5度目の認定

• GPIFが採用するESG指数すべての構成銘柄に、8年連続で継続選定 24年8月



FTSE Blossom  
 Japan



FTSE Blossom  
 Japan Sector  
 Relative Index

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
 ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCI JAPAN  
 EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

\*2



Japan ex-REIT Gender Diversity  
 Tilt Index

TOP CONSTITUENT 2024

\*1 FTSE Russell (the trading name of FTSE International Limited and Frank Russell Company) confirms that MARUI GROUP CO., LTD. has been independently assessed according to the FTSE4Good criteria, and has satisfied the requirements to become a constituent of the FTSE4Good Index Series. Created by the global index provider FTSE Russell, the FTSE4Good Index Series is designed to measure the performance of companies demonstrating strong Environmental, Social and Governance (ESG) practices. The FTSE4Good indices are used by a wide variety of market participants to create and assess responsible investment funds and other products.

\*2 TERMS AND CONDITIONS <http://info.msci.com/l/36252/2017-06-27/kj5n9b>

## 25年3月期 第3四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ 共創投資
- ・ 営業外損益・特別損益
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ ESG

### 通期見通し

## EPS・ROE・ROICの3KPIは当初計画どおりの見通し

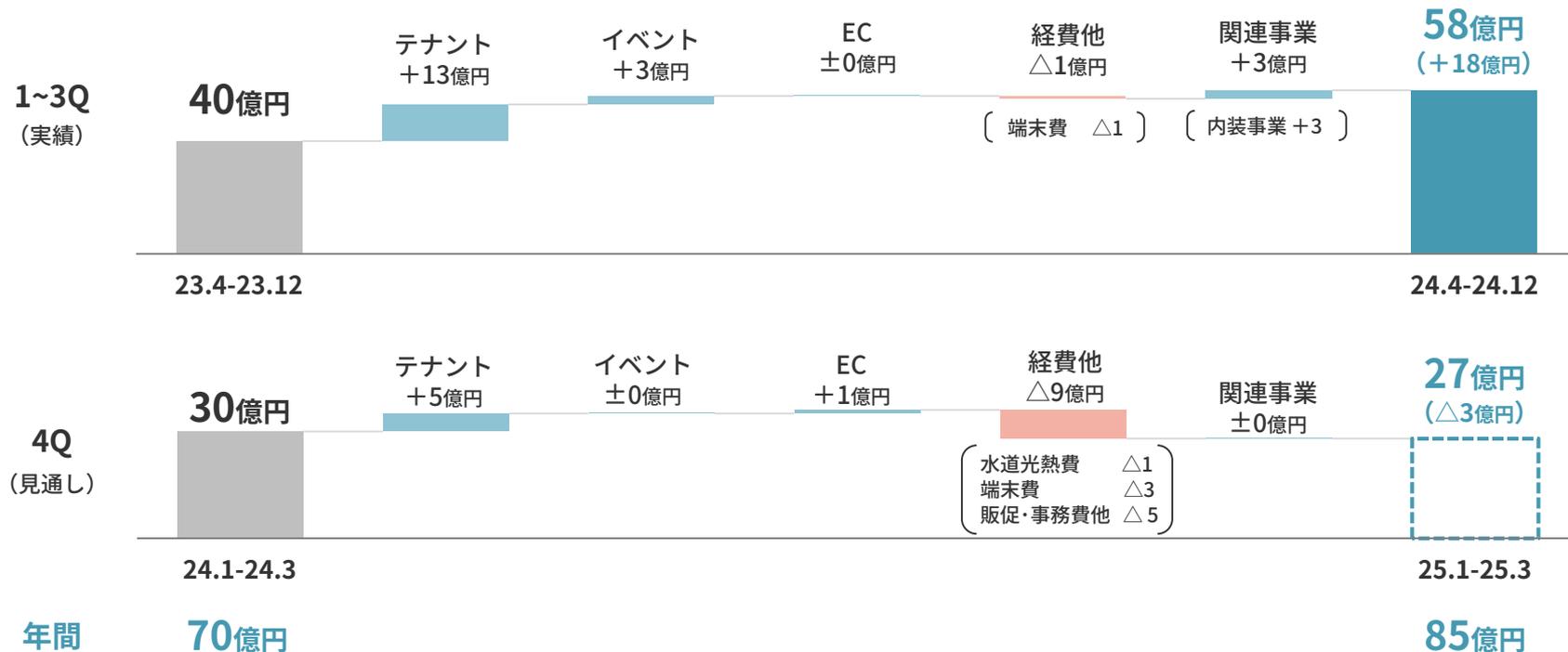
	24年3月期	25年3月期		
		前年比	前年差	
EPS (円)	130.7	141.4	108 +10.7	
ROE (%)	9.9	10.4	- +0.5	
ROIC (%)	3.6	3.7	- +0.1	
CO2削減量	35万t	38万t	109 +3万t	
<b>&lt; 参考 &gt;</b>				
	兆 億円	兆 億円	%	億円
グループ総取扱高	4 4,872	4 9,800	111	+4,928
売上収益	2,352	2,542	108	+190
売上総利益	2,056	2,232	109	+176
販管費	1,646	1,782	108	+136
営業利益	410	450	110	+40
当期利益	247	265	107	+18

小売は22%増の85億円、フィンテックは5%増の445億円を見込む

	24年3月期	25年3月期	
		前年比	前年差
	億円	%	億円
小売	70	122	+15
フィンテック	424	105	+21
全社・消去	△83	-	+3
連結営業利益	410	110	+40

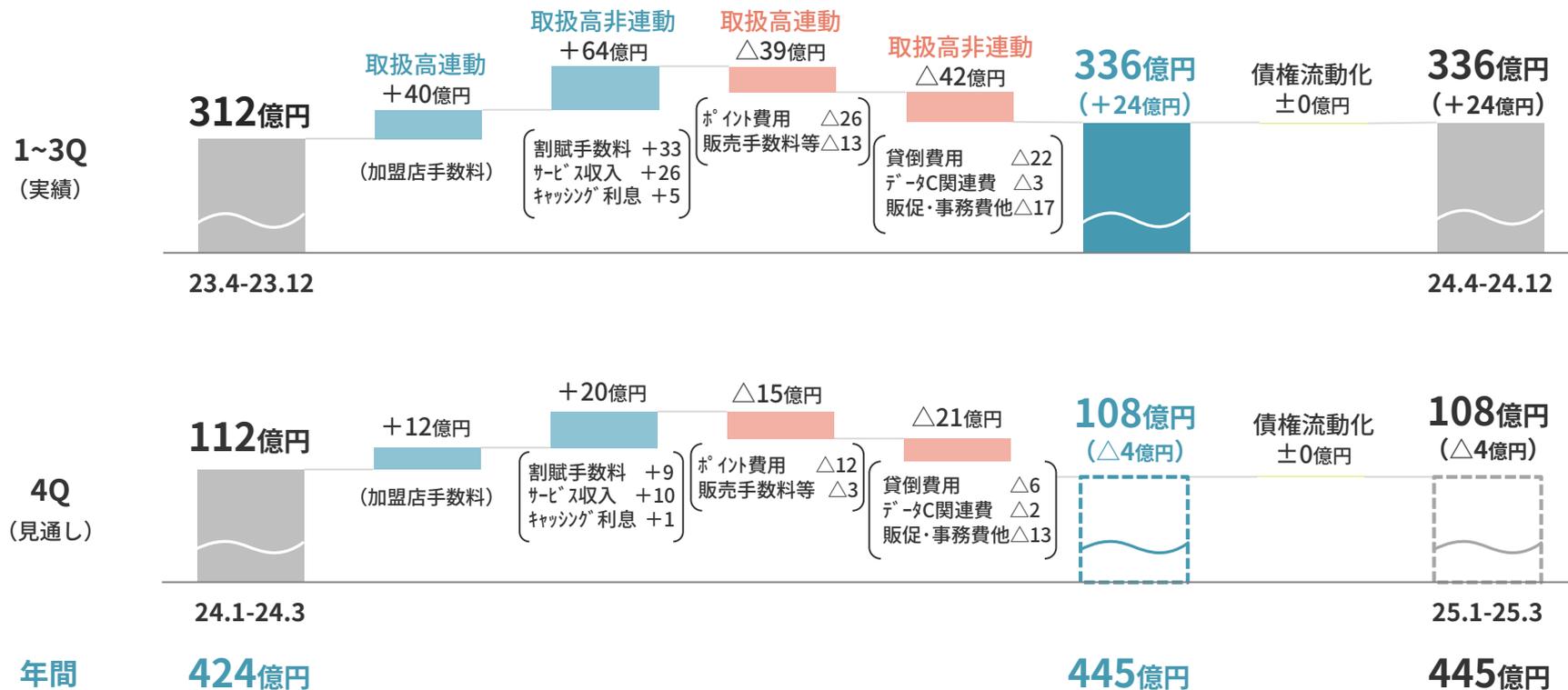
# 小売 営業利益の見通し

第4四半期は戦略的な経費執行等で3億円減益も、年間は年初計画どおり85億円を見込む



# フィンテック 営業利益の見通し

第4四半期は前年のうるう年の影響等で4億円減益も、年初計画どおり445億円を見込む



# 「好き」が駆動する経済へ

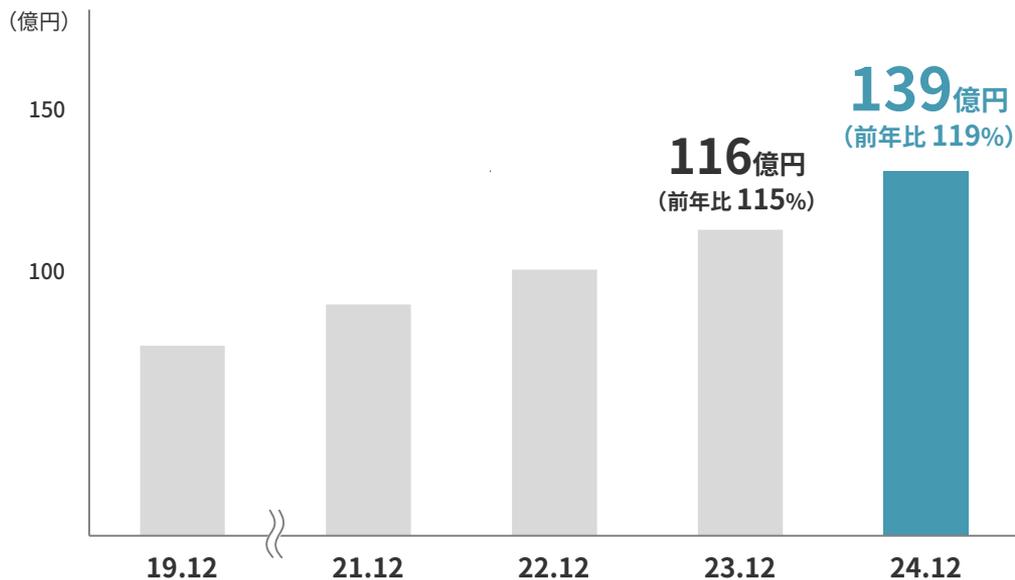
本資料に掲載しております将来の予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。お問い合わせは、I R部 [marui-ir@0101.co.jp](mailto:marui-ir@0101.co.jp)にご連絡ください。

# Appendix



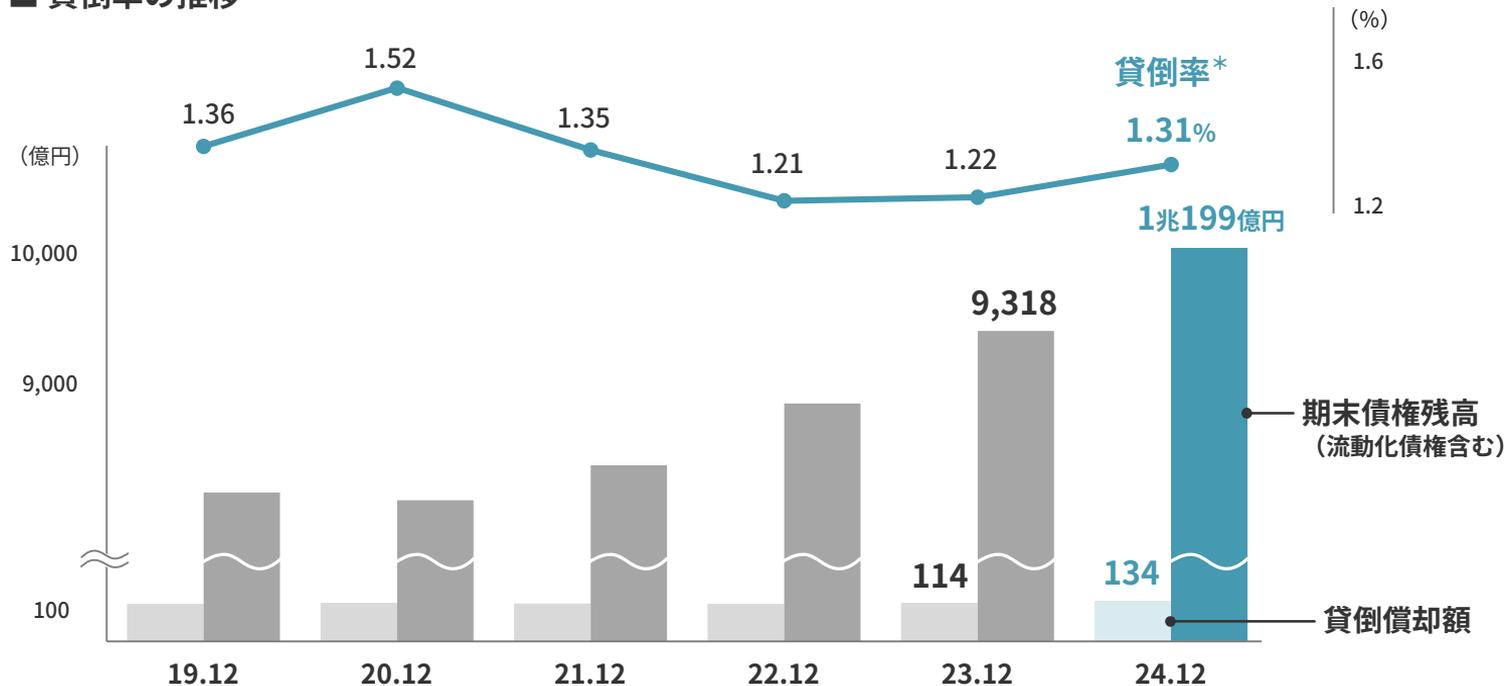
## 取扱高の伸長により売上収益は19%増の139億円

■ 売上収益の推移



債権残高は増加しているものの、貸倒償却額が抑制され、貸倒率は1.31%とコロナ前と同水準で推移

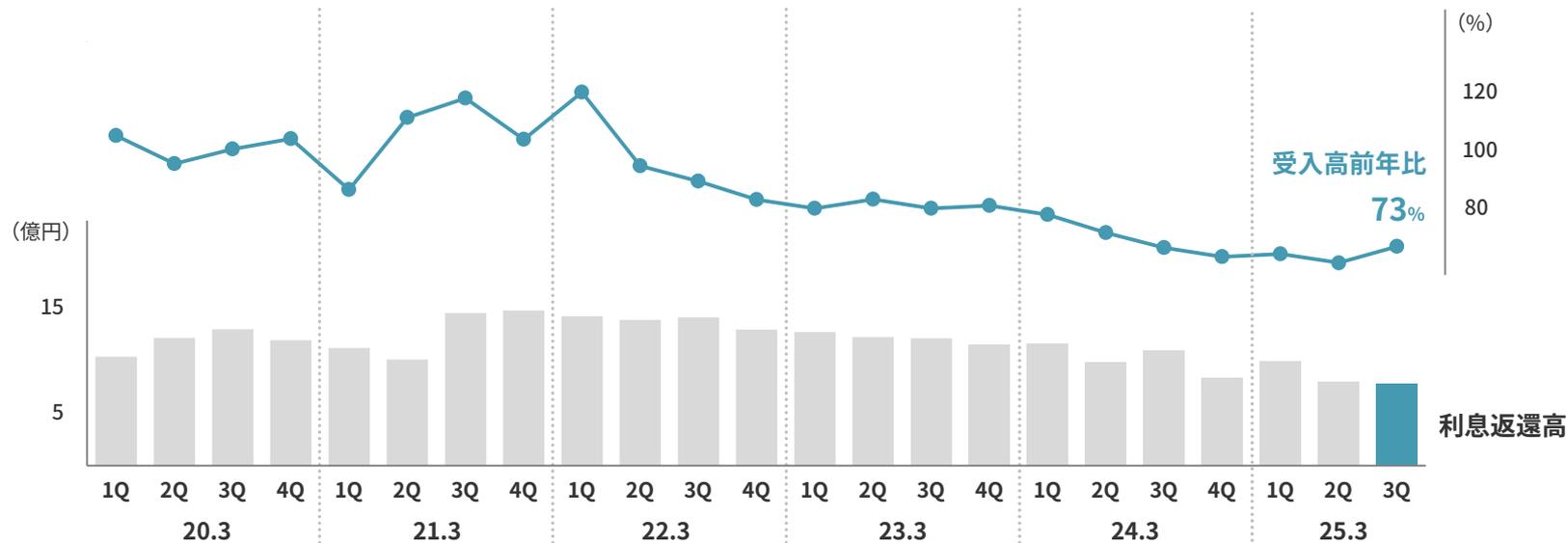
■ 貸倒率の推移



\*貸倒率 = 当期貸倒償却額 ÷ 期末債権残高

先行指標の受入高は減少傾向も、今後も継続して動向を注視

■ 利息返還高と受入高前年比の推移





**END**